

意見発表者3 (会場②常陸河川国道事務所)

意見の概要

霞ヶ浦導水事業の目的である河川湖水の水質浄化、都市用水の確保ですが、元々霞ヶ浦の水質の悪化は汽水湖だ、たものを鹿島臨海工業地帯の水がめとして水門を造り淡水化したことから海水の出入りによる浄化が無くなり自然な水の流れがなくな、たことが原因です。まずは霞ヶ浦の水質悪化の原因を探り対策を考えるべきです。那珂川と霞ヶ浦を地下トunnelしてつなご双方から導水、送水する事業計画は新たな問題を発生させます。無視できないのは取水による那珂川の環境破壊です。霞ヶ浦からの外来魚や微生物の移送、水量の変化による生態系の破壊、水質の悪化は流域の観光(150km)など経済的な損失も発生します。都市用水の確保にしても低成長の時代では水余りの状況です。これ以上の予算を霞ヶ浦導水事業につぎ込むなら超高齢化社会に備え社会福祉や子孫のため豊かな自然を残すべきだと思ひます。

※横書きで、400文字以内で記載して下さい。